

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年10月4日(2024.10.4)

【公開番号】特開2023-164738(P2023-164738A)
 【公開日】令和5年11月10日(2023.11.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-212
 【出願番号】特願2023-160069(P2023-160069)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年9月26日(2024.9.26)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、

遊技者が操作可能な操作手段と、

第1始動条件の成立又は第2始動条件の成立に基づき判定情報を取得する取得手段と、

前記判定情報の判定の結果に応じて図柄の変動表示を実行する変動制御手段と、

前記図柄の変動表示が未実行の前記判定情報を事前判定する事前判定手段と、

を備え、

遊技状態として通常遊技状態と、前記通常遊技状態より有利な特定遊技状態とを有し、

前記操作手段を所定態様で振動させる振動演出を実行可能であり、

前記振動演出には、

操作有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行される第1振動演出と、

前記操作有効期間を発生させずに実行される第2振動演出と、を含み、

前記事前判定手段の判定結果に基づき、前記第2振動演出を実行可能であり、

前記特定遊技状態における前記第1始動条件の成立に基づく前記変動表示が実行される場合よりも、前記通常遊技状態における前記第1始動条件の成立に基づく前記変動表示が実行される場合の方が、実行可能な前記振動演出の前記振動の種類が多いことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示の遊技機1は、遊技者に有利な特別遊技(大当たり遊技)を実行可能な遊技機において、遊技者が操作可能な操作手段(演出ボタン、演出レバー)と、第1始動条件の成立又は第2始動条件の成立(第1入賞口又は第2入賞口への遊技球の入賞)に基づき判定情報(特図判定情報)を取得する取得手段(主制御基板110)と、前記判定情報の判定の結果に応じて図柄(特別図柄)の変動表示を実行する変動制御手段(主制御基板110)と、前記図柄の変動表示が未実行の前記判定情報を事前判定する事前判定手段(主制御

50

基板 1 1 0) と、前記判定情報の判定の結果に応じて変動表示を実行する演出制御手段 (演出制御基板 1 3 0) と、を備え、前記操作手段を所定態様で振動させる振動演出 (先読み振動演出、セリフ予告演出時、ステップアップ予告演出時、擬似連演出時、カットイン演出時、決め成功演出時、図柄揃い時、昇格成功演出時、c 図柄揃い時、確定演出時の振動演出等) を実行可能であり、前記振動演出には、操作有効期間中の前記操作手段の操作に応じて実行される第 1 振動演出 (セリフ予告演出時、擬似連演出時、カットイン演出時、決め成功演出時、昇格成功演出時の振動演出等) と、前記操作有効期間を発生させずに実行される第 2 振動演出 (先読み振動演出等) と、を含み、前記事前判定手段の判定結果に基づき、前記第 2 振動演出を実行可能であり、前記特定遊技状態における前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動表示が実行される場合よりも、前記通常遊技状態における前記第 1 始動条件の成立に基づく前記変動表示が実行される場合の方が、実行可能な前記振動演出の前記振動の種類が多いことを特徴とする。

10

20

30

40

50